

## 第2章 保健福祉学研究科



## 第2章 保健福祉学研究科

### 1 本研究科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

保健福祉学研究科は、保健・医療・福祉分野における問題点を提起してそれを解決し得る研究能力を持つとともに、専門職としての高度な知識・技術を身に付けることにより、健康で夢の持てる地域社会の実現に貢献し得る人材の育成を目指しています。

したがって、本研究科では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

- 保健・医療・福祉分野における問題点を発見し、それを理論的に解決できる研究能力を身に付けている
- 高度な知識と技術を備え、豊かな地域社会の実現に向けて指導者、実践者として活躍できる能力を身に付けている
- グローバルな視野を持った専門職として国際貢献できる能力を身に付けている

### 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- 1 広い視野に立って精深な学識を受け、専攻分野における研究能力とグローバルな視野並びに高度の専門性を要する職業等に必要能力を養うための博士前期課程と、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力及びその基礎となる豊かな学識並びにグローバルな視野を養うことを目的とした博士後期課程（保健福祉科学専攻）を置いています。
- 2 博士前期課程は、看護学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、看護技術やケアシステムに関連した諸問題を解決できる人材を育成する看護学専攻、栄養学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、食品の機能や臨床栄養などの人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決できる人材を育成する栄養学専攻及び保健福祉学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、保健福祉に関連した臨床や政策の諸問題を解決できる人材を養成する保健福祉学専攻の3専攻を置いています。
- 3 博士後期課程は保健福祉科学専攻からなり、看護・栄養・福祉のそれぞれの分野において高度の見識と、より専門的な視点から科学的にアプローチする研究を行うための3大講座を置いています。
- 4 カリキュラムは、それぞれの専攻のカリキュラム・ポリシーに従って、講義・演習科目と特別研究から編成しています。





# 1 看護学専攻

授業科目表

授業時間割表



## 1 看護学専攻

### 1. 1 本専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護学専攻は、学際的で高い看護の専門的知識と基礎的な研究能力を活かして、保健医療福祉分野における課題を解決し、国内外の看護における実践・教育・研究の場で社会のニーズに応え、貢献できる人材の育成を目指しています。

したがって、本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

- ヒューマン・ケアリングと科学的根拠に基づく看護実践力を身に付けている
- 看護における現象を科学的根拠に基づいて説明し、課題を提起する能力を身に付けている
- 国際的・研究的視点を持ち看護の質向上に向けて貢献できる能力を身に付けている
- 看護のリーダーやスペシャリストとして、国内外で活躍できる能力を身に付けている

### 1. 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- 1 看護学の教育・研究に必要な基礎的理論や研究技法及び外国文献の読解力を学修する「看護学専攻共通科目」と「基礎看護学」「発達看護学」「広域看護学」の各専門分野から構成しています。
- 2 幅広く保健医療福祉に共通する3専攻共通科目では、保健福祉学特論、災害援助特論・演習や国際コミュニケーション特論等を履修できます。
- 3 「基礎看護学」では、生命科学特論や基礎看護学特論等の講義・演習を通して、看護のエビデンス検証や確立を志向します。
- 4 「発達看護学」では、小児・母性・成人・老年期のライフステージ特有の看護に関する課題を探求し、人々の健康と豊かな人生を支援できる看護の方法論やシステム構築に貢献することを目指しています。
- 5 「広域看護学」では、公衆衛生看護学・在宅看護学・国際保健看護特論・精神保健看護学特論を履修し、生涯を通じた人々の心とからだの健康を学際的に探究し、グローバルな視点から根拠に基づく課題解決を図り、看護の質向上にむけて先導できることを目指しています。
- 6 「広域看護学」では、修士論文に加えて保健師国家試験受験資格を満たす科目を開講し、高度な実践力とリーダーシップを発揮して社会に貢献できる保健師を養成します。

保健福祉学研究科看護学専攻授業科目表(平成29年度入学生用)

授業科目の名称		授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師)	配当年次	開講 時間数	単位数	
						必修	選択
看護学専攻共通科目	看護理論特論	講義	山口三重子、井上幸子	1・2	30		2
	看護研究特論Ⅰ	講義	高橋 徹、名越恵美、實金 栄、池田理恵	1・2	30		2
	看護研究特論Ⅱ	講義	荻野哲也、高橋幸子、沖本克子、井上幸子	1・2	30		2
	統計学特論	講義	三好 弘人*	1・2	30		2
	看護管理特論	講義	山田 佐登美*	1・2	30		2
	看護教育特論	講義	佐藤美恵、岡崎愉加、二宮一枝	1・2	30		2
	看護倫理特論	講義	山口三重子、名越恵美	1・2	30		2
	看護法規特論	講義	沖本 克子	1・2	30		2
	基礎看護学講座	生命科学特論	講義	荻野 哲也	1・2	30	
生命科学特論演習		演習	荻野 哲也	1・2	30		1
基礎看護学特論Ⅰ		講義	山口 三重子	1・2	30		2
基礎看護学特論Ⅰ演習		演習	山口 三重子	1・2	30		1
基礎看護学特論Ⅱ		講義	佐藤 美恵	1・2	30		2
基礎看護学特論Ⅱ演習		演習	佐藤 美恵	1・2	30		1
基礎看護学特論Ⅲ		講義	佐々木 新介	1・2	30		2
基礎看護学特論Ⅲ演習		演習	佐々木 新介	1・2	30		1
基礎看護学特別研究		演習	山口三重子、荻野哲也、佐藤美恵、佐々木新介	1~2	270	9	
発達看護学講座	フィジカルアセスメント学特論	講義	高橋 徹	1・2	30		2
	フィジカルアセスメント学特論演習	演習	高橋 徹	1・2	30		1
	母子保健看護学特論Ⅰ	講義	沖本 克子	1・2	30		2
	母子保健看護学特論Ⅰ演習	演習	沖本 克子	1・2	30		1
	母子保健看護学特論Ⅱ	講義	岡崎 愉加	1・2	30		2
	母子保健看護学特論Ⅱ演習	演習	岡崎 愉加	1・2	30		1
	母子保健看護学特論Ⅲ	講義	池田 理恵	1・2	30		2
	母子保健看護学特論Ⅲ演習	演習	池田 理恵	1・2	30		1
	成人看護学特論Ⅰ	講義	名越 恵美	1・2	30		2
	成人看護学特論Ⅰ演習	演習	名越 恵美	1・2	30		1
	成人看護学特論Ⅱ	講義	住吉 和子	1・2	30		2
	成人看護学特論Ⅱ演習	演習	住吉 和子	1・2	30		1
	老年看護学特論	講義	實金 栄	1・2	30		2
	老年看護学特論演習	演習	實金 栄	1・2	30		1
発達看護学特別研究	演習	高橋 徹、名越恵美、住吉和子、沖本克子、岡崎愉加、實金 栄、池田理恵	1~2	270	9		
広域看護学講座	地域看護学特論Ⅰ	講義	二宮 一枝	1・2	30		2
	地域看護学特論Ⅰ演習	演習	二宮 一枝	1・2	30		1
	地域看護学特論Ⅱ	講義	佐々木 純子	1・2	30		2
	地域看護学特論Ⅱ演習	演習	佐々木 純子	1・2	30		1
	精神保健看護学特論	講義	井上 幸子	1・2	30		2
	精神保健看護学特論演習	演習	井上 幸子	1・2	30		1
	国際保健看護学特論	講義	佐々木純子、二宮一枝	1・2	30		2
	国際保健看護学特論演習	演習	佐々木純子、二宮一枝	1・2	30		1
	広域看護学特別研究	演習	二宮一枝、井上幸子、佐々木純子	1~2	270	9	
	【保健師必修科目】						
	公衆衛生看護学概論	講義	二宮一枝、井上幸子	1	30		2
	精神保健福祉特論	講義	井上幸子、坂野純子	1	30		2
	精神保健福祉特論演習	演習	井上幸子、坂野純子	1	30		1
	公衆衛生看護診断論	講義	二宮一枝、佐々木純子	1	30		2
	公衆衛生看護診断論演習	演習	二宮一枝、佐々木純子	1	60		2
	公衆衛生看護活動展開論	講義	二宮一枝、佐々木純子	1	45		3
	公衆衛生看護活動展開論演習	演習	二宮一枝、佐々木純子	1	60		2
	公衆衛生看護管理論	講義	二宮 一枝	1	30		2
	疫学	講義	藤井 保人	1	30		1
疫学演習	演習	藤井 保人	1	30		1	
保健統計学	講義	三好 弘人*	1	30		1	
保健統計学演習	演習	三好 弘人*	1	30		1	
保健医療福祉行政論	講義	二宮一枝、増田雅暢*	1	30		2	
保健医療福祉行政論演習	演習	二宮一枝	1	30		1	
公衆衛生看護学実習	実習	二宮一枝、井上幸子、佐々木純子	1	225		5	

専攻 共通	保健福祉学特論Ⅰ	講義	中村 光、伊東秀之、岡崎愉加、 久保田恵、荻野哲也	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅱ	講義	坂野純子、名越恵美、川上貴代	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅲ	講義	荻野哲也、田中晃一、未定	1・2	30		2
	災害医療援助特論	講義	菅波 茂*	1・2	30		2
	災害医療援助特論演習	演習	高橋 徹、田中晃一、菅波 茂*	1・2	30		1
	国際コミュニケーション特論	講義	高橋 幸子	1・2	30		2
	プロジェクトマネジメント実践論	講義	吉原 直彦	1・2	30		2

## 【修了要件】

次の要件を全て充足すること。

- 1 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者は、短縮条項を適用する。
- 2 看護学専攻の講座の講義科目のうちから12単位以上修得すること。
- 3 前記2で履修する講義科目に続く演習科目のうちから3単位以上を修得すること。
- 4 看護学専攻のいずれかの講座の特別研究9単位を修得すること。
- 5 専攻共通科目のうちから3単位以上を修得すること。
- 6 上記を含め合計30単位以上を修得すること。
- 7 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。
- 8 保健師国家試験受験資格取得には広域看護学講座（保健師必修科目）28単位を履修すること。

## 【注意事項】

特別研究については、積算して2年間の履修後、単位認定する。なお、特別研究について不合格の評価を受けた者は研究科委員会の承認を得て、以降直近の期末において再度評価を受けることができる。

保健福祉学研究科 看護学専攻(博士前期課程)

曜日 時間	月						火					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期	地域看護学 特論Ⅱ 〈佐々木純〉 2単位 6405	基礎看護学 特論Ⅲ 〈佐々木新〉 2単位 6405	基礎看護学 特論Ⅱ 〈佐藤美〉 2単位 6405	看護理論特 論 〈山口・井上幸〉 2単位 6405	疫学 〈藤井〉 1単位(15) 6405	母子保健看 護学特論Ⅱ 〈岡崎〉 2単位 6405	成人看護学 特論Ⅱ 〈住吉〉 2単位 6405	フィジカルア セスメント学 特論 〈高橋徹〉 2単位 6405	生命科学特 論 〈荻野〉 2単位 6405	統計学特論 〈三好*〉 2単位 6405	保健統計学 〈三好*〉 1単位(15) 6405	看護研究特 論Ⅰ 〈高橋徹・名越・ 實金・池田理〉 2単位 6405
1・2 年後期		基礎看護学 特論Ⅲ演習 〈佐々木新〉 1単位 6405	基礎看護学 特論Ⅱ演習 〈佐藤美〉 1単位 6405	精神保健福 祉特論演習 〈井上幸・坂野〉 1単位 6405	母子保健看 護学特論演 習Ⅱ 〈岡崎〉 1単位 6405	母子保健看 護学特論演 習Ⅰ 〈沖本〉 1単位 6405	看護法規特 論 〈沖本〉 2単位 6405	フィジカルア セスメント学 特論演習 〈高橋徹〉 1単位 6405	成人看護学 特論Ⅱ演習 〈住吉〉 1単位 6405	保健統計学 演習 〈三好*〉 1単位 6405	成人看護学 特論Ⅰ演習 〈名越〉 1単位 6405	看護研究特 論Ⅱ 〈荻野・高橋幸・ 沖本・井上幸〉 2単位 6405

曜日 時間	水						木						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1・2 年前期	老年看護学 特論 〈實金〉 2単位 6405	看護教育特 論 〈佐藤美・ 岡崎・二宮〉 2単位 6405	保健医療福 祉行政論 〈二宮・増田*〉 2単位 6405	公衆衛生看 護診断論 〈二宮・ 佐々木純〉 2単位 6405	公衆衛生看 護学概論 〈二宮・井上幸〉 2単位 6405	精神保健福 祉特論 〈井上幸・坂野〉 2単位 6405	公衆衛生看 護管理論 〈二宮〉 2単位 6405	精神保健看 護学特論 〈井上幸〉 2単位 6405					
1・2 年後期	老年看護学 特論演習 〈實金〉 1単位 6405	保健医療福 祉行政論演 習 〈二宮〉 1単位 6405	地域看護学 特論Ⅱ演習 〈佐々木純〉 1単位 6405	公衆衛生看 護診断論演 習 〈二宮・佐々木純〉 2単位(60) 6405	精神保健看 護学特論演 習 〈井上幸〉 1単位 6405	看護倫理特 論 〈山口・名越〉 2単位 6405							

曜日 時間	金						土						
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
1・2 年前期	公衆衛生看護活動展開 論 〈二宮・佐々木純〉 3単位(45) 6405		基礎看護学 特論Ⅰ 〈山口〉 2単位 6405	母子保健看 護学特論Ⅲ 〈池田理〉 2単位 6405	母子保健看 護学特論Ⅰ 〈沖本〉 2単位 6405	成人看護学 特論Ⅰ 〈名越〉 2単位 6405			地域看護学 特論Ⅰ 〈二宮〉 2単位 6405				
1・2 年後期	公衆衛生看護活動展開論 演習 〈二宮・佐々木純〉 2単位(60) 6405			母子保健看 護学特論Ⅲ 演習 〈池田理〉 1単位 6405	疫学演習 〈藤井〉 1単位 6405	基礎看護学 特論Ⅰ演習 〈山口〉 1単位 6405			地域看護学 特論Ⅰ演習 〈二宮〉 1単位 6405				

集中授業												
1・2 年前期	看護管理特論(山田*) 2単位(6405)	国際保健看護学特論(佐々木純・二宮) 2単位(6405)	国際コミュニケーション特論(高橋幸)2単位(6405)	災害医療援助特論(菅波*)8月末予定 2単位(学外)	災害医療援助特論演習(高橋徹・田中晃・菅波*) 1単位(学外)	プロジェクトマネジメント実践論(吉原) 2単位	基礎看護学特別研究(山口・荻野・佐藤美・佐々木新) 通年 9単位(6405)	発達看護学特別研究(高橋徹・沖本・住吉・岡崎・名越・實金・池田理) 通年 9単位(6405)	広域看護学特別研究(二宮・井上幸・佐々木純) 通年 9単位(6405)			
	1 年後期	保健福祉学特論Ⅰ(中村光・伊東・岡崎倫・久保田・荻野) 2単位(6405)	保健福祉学特論Ⅱ(坂野・名越・川上貴) 2単位(6405)	保健福祉学特論Ⅲ(荻野他) 2単位	国際保健看護学特論演習(佐々木純・二宮) 1単位(6405)	生命科学特論演習(荻野)1単位(6414)	基礎看護学特別研究(山口・荻野・佐藤美・佐々木新) 通年 9単位(6405)	発達看護学特別研究(高橋徹・沖本・住吉・岡崎・名越・實金・池田理) 通年 9単位(6405)	広域看護学特別研究(二宮・井上幸・佐々木純) 通年 9単位(6405)			
1 年後期	1 年後期	2 年前期	公衆衛生看護学実習(二宮・井上幸・佐々木純) 5単位(6405)									

履修上の留意事項												
◎ 教室は、保健福祉学部棟6405あるいは6301とする。(なお、変更する場合がある。)												
◎ 各特別研究は1年次から2年次にかけて開講される2年間の通年科目である。												

## 2 栄養学専攻

授業科目表

授業時間割表





## 2 栄養学専攻

### 2. 1 本専攻の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

栄養学専攻は、食品の機能や臨床栄養などの人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決できる優れた専門性を備えるとともに、豊かな創造力と問題解決能力を身に付け、それぞれの領域で活躍できる人材の育成を目指しています。

したがって、本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

- 栄養学領域における理論と技術を身に付けている
- 人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決するための専門性や研究能力を身に付けている
- 栄養学領域における専門的な技術や知識を地域・世界に向けて発信できる能力を身に付けている
- 栄養士のリーダーとして、国内外で活躍できる能力を身に付けている

### 2. 2 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

- 1 栄養情報学講座、食デザイン学講座、基礎栄養学講座及び食品栄養学講座を置き、教育研究を実施します。
- 2 栄養情報学講座では、情報解析技術を活用したデータ解析法と新しい理論構築を基に、近年急速に問題となってきた肥満、糖尿病、脂質異常症をはじめとする生活習慣病の予防と治療を目指した教育・研究並びにスポーツ栄養学の教育・研究を行い、栄養学の最先端の分野で活躍できる能力を育成します。
- 3 食デザイン学講座では、幼児、児童・生徒、高齢者の栄養指導や調理指導、あるいは一般消費者の食生活全般を対象にした食育において、デザインや色彩の手法を取り入れて効果を得るための教育・研究を行い、食デザイン学の分野のリーダーとして活躍できる能力を育成します。
- 4 基礎栄養学講座では、一連の生命現象を遺伝子、生体分子、個体、集団などのレベルごとに理解し、さらに未知なる理論を展開して発展させる力を養うための教育・研究を行い、栄養学の基礎と臨床を結ぶことができる能力、並びに栄養学分野の教育・研究機関にて活躍できる能力を育成します。
- 5 食品栄養学講座では、栄養学を基盤とした天然物化学、酵素化学、分子遺伝学的アプローチにより、新規機能性食品成分の発見や新たな機能性食品素材の開拓、さらに食中毒の原因解明や予防に基づく食品の安全性の評価方法を開発し、健康増進と疾病予防を目標とした安全かつ高機能を有する食品素材の探求を志向した教育・研究を行い、管理栄養士のエキスパートとして食品関連企業、教育研究機関や行政機関において先導的に活躍できる能力を育成します。
- 6 外国人による科目を設定しグローバルな視野を育成します。

保健福祉学研究科栄養学専攻授業科目表(平成29年度入学生用)

授 業 科 目 の 名 称	授業の方法	担 当 教 員 (*印は非常勤講師)	配当 年次	開講 時間数	単位数		
					必修	選択	
栄養情報学講座	栄養遺伝子解析学特論	講義	方 定志*	1・2	30		2
	ニュートリゲノミクス学特論	講義	加藤 久典*	1・2	30		2
	スポーツ栄養工学特論	講義	山下広美、綾部誠也	1・2	30		2
	代謝情報解析学特論	講義	山下 広美、市川 正美	1・2	30		2
	内科学特論	講義	入江 康至	1・2	30		2
	食品栄養情報学特論	講義	山下 広美	1・2	30		2
	栄養情報学特別研究	演習	山下広美、入江康至	1~2	270	9	
食デザイン学講座	調理色彩学特論	講義	新田陽子、山下明美	1・2	30		2
	調理色彩学特論演習	演習	新田陽子、山下明美	1・2	30		1
	韓国食文化学特論	講義	李 奎姫*	1・2	30		2
	食文化学特論	講義	岸本 妙子	1・2	30		2
	食文化学特論演習	演習	岸本 妙子	1・2	30		1
	食デザイン学特別研究	演習	岸本妙子、新田陽子、山下明美	1~2	270	9	
基礎栄養学講座	分子組織化学特論	講義	山本 登志子	1・2	30		2
	病態栄養学特論I	講義	高橋 吉孝	1・2	30		2
	病態栄養学特論II	講義	川上 祐子*	1・2	30		2
	病態栄養学特論演習II	演習	川上 祐子*	1・2	30		1
	栄養生理学特論	講義	森脇 晃義*	1・2	30		2
	生命工学特論	講義	畑中 唯史* 他	1・2	30		2
	栄養教育学特論	講義	川上 貴代	1・2	30		2
	健康栄養学特論	講義	久保田 恵	1・2	30		2
	基礎栄養学特別研究	演習	高橋吉孝、川上貴代、山本登志子、久保田 恵	1~2	270	9	
	食品栄養学講座	応用微生物学特論	講義	田中 晃一	1・2	30	
応用微生物学特論演習		演習	田中 晃一	1・2	30		1
食品機能学特論		講義	伊東 秀之	1・2	30		2
食品機能学特論演習		演習	伊東 秀之	1・2	30		1
給食経営管理特論		講義	田淵 真愉美	1・2	30		2
食品微生物学特論		講義	三宅 剛史*	1・2	30		2
食品酵素学特論		講義	中島 伸佳	1・2	30		2
食品酵素学特論演習		演習	中島 伸佳	1・2	30		1
食品生化学特論		講義	川上 祐生	1・2	30		2
食品栄養学特別研究		演習	伊東秀之、中島伸佳、田中晃一、川上祐生	1~2	270	9	
専攻共通	保健福祉学特論 I	講義	中村 光、伊東秀之、岡崎愉加、久保田 恵、荻野哲也	1・2	30		2
	保健福祉学特論 II	講義	坂野純子、名越恵美、川上貴代	1・2	30		2
	保健福祉学特論 III	講義	荻野哲也、田中晃一、未定	1・2	30		2
	災害医療援助特論	講義	菅波 茂*	1・2	30		2
	災害医療援助特論演習	演習	高橋 徹、田中晃一、菅波 茂*	1・2	30		1
	国際コミュニケーション特論	講義	高橋 幸子	1・2	30		2
	プロジェクトマネジメント実践論	講義	吉原 直彦	1・2	30		2

【修了要件】

次の要件を全て充足すること。

- 1 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
- 2 栄養学専攻の講座の講義科目のうちから12単位以上修得すること。
- 3 栄養学専攻の講座の演習科目のうちから3単位以上修得すること。
- 4 栄養学専攻のいずれかの講座の特別研究9単位を修得すること。
- 5 専攻共通科目のうちから3単位以上修得すること。
- 6 上記を含め合計30単位以上を修得すること。
- 7 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

【注意事項】

- 1 特別研究については、積算して2年間の履修後、単位認定する。なお、特別研究について、不合格の評価を受けた者は、研究科委員会の承認を得て、以降直近の期末において再度評価を受けることができる。
- 2 専攻共通を除く科目では、外国人留学生在が履修する場合に英語で開講することがある。

保健福祉学専攻 栄養学専攻(博士前期課程)

曜日 時間	月						火					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期			健康栄養学 特論 〈久保田〉 2単位 6101/6102				食文化学特 論 〈岸本〉 2単位 6101/6102	食文化学特 論演習 〈岸本〉 1単位 6101/6102				
1・2 年後期	食品機能学 特論 〈伊東〉 2単位 6101/6102	食品機能学 特論演習 〈伊東〉 1単位 6101/6102	病態栄養学 特論Ⅰ 〈高橋吉〉 2単位 6101/6102						給食経営管 理特論 〈田淵〉 2単位 6101/6102			

曜日 時間	水						木					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期			食品酵素学 特論 〈中島〉 2単位 6101/6102	食品酵素学 特論演習 〈中島〉 1単位 6101/6102			調理色彩学 特論 〈新田・山下明〉 2単位 6101/6102		調理色彩学 特論演習 〈新田・山下明〉 1単位 6101/6102	スポーツ栄 養工学特論 〈山下広・綾部〉 2単位 6101/6102		
1・2 年後期		栄養教育学 特論 〈川上貴〉 2単位 6101/6102	分子組織化 学特論 〈山本〉 2単位 6101/6102				食品生化学 特論 〈川上祐生〉 2単位 6101/6102				内科学特論 〈入江〉 2単位 6101/6102	

曜日 時間	金					
	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期			応用微生物 学特論 〈田中〉 2単位 6101/6102	応用微生物 学特論演習 〈田中〉 1単位 6101/6102		
1・2 年後期	代謝情報解 析学特論 〈山下広、市川〉 2単位 6101/6102		食品栄養情 報学特論 〈山下広〉 2単位 6101/6102			

集中授業	
1・2 年前期	食品微生物学特論<食品微生物学特論Ⅱ>(三宅) 2単位 栄養遺伝子解析学特論<方> 2単位 韓国食文化学特論<李> 2単位 災害医療援助特論<菅波> 2単位(8月予定) 災害医療援助特論演習 1単位(8月予定) <高橋徹・田中晃・菅波> 国際コミュニケーション特論<高橋幸> 2単位 生命工学特論<畑中 他> 2単位(9月予定) ニュートリゲノミクス学特論<加藤> 2単位 栄養生理学特論<森脇> 2単位 プロジェクトマネジメント実践論<吉原> 2単位(9月予定) 栄養情報学特別研究<山下広、入江> 通年 9単位 食デザイン学特別研究<岸本、新田、山下明> 通年 9単位 基礎栄養学特別研究 通年 9単位 <高橋吉、川上貴、山本、久保田> 食品栄養学特別研究 通年 9単位 <伊東、中島、田中、川上祐生>
1・2 年後期	病態栄養学特論Ⅱ<川上祐子> 2単位 病態栄養学特論演習Ⅱ<川上祐子> 1単位 保健福祉学特論Ⅰ<中村 他> 2単位 保健福祉学特論Ⅱ<坂野 他> 2単位 保健福祉学特論Ⅲ<荻野 他> 2単位 栄養情報学特別研究<山下広、入江> 通年 9単位 食デザイン学特別研究<岸本、新田、山下明> 通年 9単位 基礎栄養学特別研究<高橋吉、川上貴、山本、久保田> 通年 9単位 食品栄養学特別研究<伊東、中島、田中、川上祐生> 通年 9単位

履修上の留意事項

- ◎ 教室は、保健福祉学部棟6101/6102とする。(なお、変更する場合がある。)
- ◎ 各特別研究は1年次から2年次にかけて開講される2年間の通年科目である。



### 3 保健福祉学専攻

授業科目表

授業時間割表



### 3 保健福祉学専攻

#### 3. 1 本専攻の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

保健福祉学専攻は、保健福祉学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、保健福祉に関連した臨床や政策の諸問題を解決できる優れた専門性を備えた人材の育成を目指しています。

したがって、本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

- 保健福祉領域における高度な知識、理論と技術及び論理性を身に付けている
- 保健福祉領域における諸問題を解決するための研究を計画・遂行・発表する基礎能力を身に付けている
- 生涯にわたって自己研鑽する姿勢と習慣を持ち、国内外の新しい問題に創造的に対応できる力を身に付けている

#### 3. 2 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

- 1 政策科学講座、社会福祉支援科学講座及び保健福祉支援科学講座を置き、教育研究を実施します。
- 2 政策科学講座では、社会保障や児童・高齢者・障害者福祉分野等における制度、政策行政などに関する理論やデータの分析・評価方法を追求する科目を設置しています。
- 3 社会福祉支援科学講座では、児童、高齢者、障害者、病者のウェルビーイングを達成するための臨床的方法・技術の開発・評価及びそれらの理論化を追求する科目を設置しています。
- 4 保健福祉支援科学講座では、児童、高齢者、障害者など多様な人々の適応行動に関わる心理的・身体的特性の科学的な分析を基礎にした保健福祉実践につながる理論と方法を追求する科目を設置しています。
- 5 当該講座分野の理論と実践の前進に寄与しうる高度な研究成果を生み出すことができるよう、主指導教員を中心としながら段階的・系統的に研究指導を行います。

保健福祉学研究科保健福祉学専攻授業科目表(平成29年度入学生用)

授業科目の名称		授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師)	配当 年次	開講 時間数	単位数	
						必修	選択
政策科学講座	政策科学特論	講義	未定	1・2	30		2
	政策科学特論演習	演習	未定	1・2	30		1
	保健福祉政策特論Ⅰ	講義	近藤 理恵	1・2	30		2
	保健福祉政策特論Ⅰ演習	演習	近藤 理恵	1・2	30		1
	保健福祉政策特論Ⅱ	講義	未定	1・2	30		2
	保健福祉政策特論Ⅱ演習	演習	未定	1・2	30		1
	社会福祉学特論Ⅰ	講義	未定	1・2	30		2
	社会福祉学特論Ⅰ演習	演習	未定	1・2	30		1
	社会福祉学特論Ⅱ	講義	井村 圭壯	1・2	30		2
	社会福祉学特論Ⅱ演習	演習	井村 圭壯	1・2	30		1
	地域福祉特論	講義	近藤 理恵	1・2	30		2
政策科学特別研究	演習	近藤理恵、井村圭壯	1~2	270	9		
社会福祉支援科学講座	ソーシャルワーク特論	講義	村社 卓	1・2	30		2
	ソーシャルワーク特論演習	演習	村社 卓	1・2	30		1
	保健医療ソーシャルワーク特論	講義	竹本 与志人	1・2	30		2
	保健医療ソーシャルワーク特論演習	演習	竹本 与志人	1・2	30		1
	高齢者保健福祉特論Ⅰ	講義	中村 光	1・2	30		2
	高齢者保健福祉特論Ⅰ演習	演習	中村 光	1・2	30		1
	高齢者保健福祉特論Ⅱ	講義	未定	1・2	30		2
	高齢者保健福祉特論Ⅱ演習	演習	中村 光	1・2	30		1
	高齢者保健福祉特論Ⅲ	講義	桐野 匡史	1・2	30		2
	高齢者保健福祉特論Ⅲ演習	演習	桐野 匡史	1・2	30		1
	精神保健福祉特論	講義	坂野 純子	1・2	30		2
	精神保健福祉特論演習	演習	坂野 純子	1・2	30		1
	児童保健福祉特論Ⅰ	講義	佐藤 和順	1・2	30		2
	児童保健福祉特論Ⅰ演習	演習	佐藤 和順	1・2	30		1
	児童保健福祉特論Ⅱ	講義	京林 由季子	1・2	30		2
	児童保健福祉特論Ⅲ	講義	池田 隆英	1・2	30		2
	表現教育特論Ⅰ	講義	吉永 早苗	1・2	30		2
表現教育特論Ⅰ演習	演習	吉永 早苗	1・2	30		1	
表現教育特論Ⅱ	講義	新山 順子	1・2	30		2	
社会福祉支援科学特別研究	演習	村社 卓、中村 光、佐藤和順、坂野純子、吉永早苗、竹本与志人、桐野匡史	1~2	270	9		
保健福祉支援科学講座	障害者保健福祉特論	講義	中村 孝文	1・2	30		2
	障害者保健福祉特論演習	演習	中村 孝文	1・2	30		1
	感覚機能障害特論	講義	中村 孝文	1・2	30		2
	感覚機能障害特論演習	演習	中村 孝文	1・2	30		1
	介護科学特論Ⅰ	講義	谷口 敏代	1・2	30		2
	介護科学特論Ⅰ演習	演習	谷口 敏代	1・2	30		1
	介護科学特論Ⅱ	講義	原野 かおり	1・2	30		2
	介護科学特論Ⅱ演習	演習	原野 かおり	1・2	30		1
	介護科学特論Ⅲ	講義	佐藤 ゆかり	1・2	30		2
	介護科学特論Ⅲ演習	演習	佐藤 ゆかり	1・2	30		1
	老年医学特論	講義	藤井 保人	1・2	30		2
	心理臨床学特論	講義	樂木 章子	1・2	30		2
	心理臨床学特論演習	演習	樂木 章子	1・2	30		1
運動機能障害特論	講義	中村 孝文、高戸 仁郎	1・2	30		2	
保健福祉支援科学特別研究	演習	谷口敏代、中村孝文、樂木章子、佐藤ゆかり、原野かおり	1~2	270	9		
専攻共通	保健福祉学特論Ⅰ	講義	中村 光、伊東秀之、岡崎愉加、久保田恵、荻野哲也	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅱ	講義	坂野純子、名越恵美、川上貴代	1・2	30		2
	保健福祉学特論Ⅲ	講義	荻野哲也、田中晃一、未定	1・2	30		2
	災害医療援助特論	講義	菅波 茂*	1・2	30		2
	災害医療援助特論演習	演習	高橋 徹、田中晃一、菅波 茂*	1・2	30		1
	国際コミュニケーション特論	講義	高橋 幸子	1・2	30		2
	プロジェクトマネジメント実践論	講義	吉原 直彦	1・2	30		2
【修了要件】 次の要件を全て充足すること。 1 2年以上在学すること。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。 2 保健福祉学専攻の講座の講義科目のうちから12単位以上修得すること。 3 保健福祉学専攻の講座の演習科目のうちから3単位以上修得すること。 4 保健福祉学専攻のいずれかの講座の特別研究9単位を修得すること。 5 専攻共通科目のうちから3単位以上修得すること。 6 上記を含め合計30単位以上を修得すること。 7 指導教員から研究指導を受けて作成した修士論文を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。							
【注意事項】 特別研究については、積算して2年間の履修後、単位認定する。なお、特別研究について、不合格の評価を受けた者は、研究科委員会の承認を得て、以降直近の期末において再度評価を受けることができる。							



保健福祉学研究科 保健福祉学専攻(博士前期課程)

曜日 時間	月						火					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期	高齢者保健福祉特論Ⅰ 演習 (中村 光) 1単位 6614	高齢者保健福祉特論Ⅱ (未定) 2単位 6614	精神保健福祉特論 (坂野) 2単位 6614	保健医療ソーシャルワーク特論 (竹本) 2単位 6614	介護科学特論Ⅱ (原野) 2単位 6614	高齢者保健福祉特論Ⅰ (中村 光) 2単位 6614	心理臨床学特論 (樂木) 2単位 6614	児童保健福祉特論Ⅰ (佐藤和) 2単位 6614		政策科学特論 (未定) 2単位 6614	地域福祉特論 (近藤) 2単位 6614	表現教育特論Ⅰ (吉永) 2単位 6614
1・2 年後期		心理臨床学特論演習 (樂木) 1単位 6614	社会福祉学特論Ⅱ演習 (井村) 1単位 5123	精神保健福祉特論演習 (坂野) 1単位 6614	保健福祉政策特論Ⅰ (近藤) 2単位 6614	保健福祉政策特論Ⅰ演習 (近藤) 1単位 6614		児童保健福祉特論Ⅰ演習 (佐藤和) 1単位 6614		政策科学特論演習 (未定) 1単位 6614	表現教育特論Ⅱ (新山) 2単位 6614	表現教育特論Ⅰ演習 (吉永) 1単位 6614

曜日 時間	水						木					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期	児童保健福祉特論Ⅱ (京林) 2単位 6614	ソーシャルワーク特論 (村社) 2単位 6614	ソーシャルワーク特論演習 (村社) 1単位 6614		高齢者保健福祉特論Ⅲ (桐野) 2単位 6614	運動機能障害特論 (中村孝・高戸) 2単位 6614						
1・2 年後期	児童保健福祉特論Ⅲ (池田) 2単位 6614		社会福祉学特論Ⅱ (井村) 2単位 5123		介護科学特論Ⅰ演習 (谷口) 1単位 6614		障害者保健福祉特論 (中村 孝) 2単位 6614	障害者保健福祉特論演習 (中村 孝) 1単位 6614				

曜日 時間	金					
	1	2	3	4	5	6
1・2 年前期	介護科学特論Ⅰ (谷口) 2単位 6614	感覚機能障害特論 (中村 孝) 2単位 6614	感覚機能障害特論演習 (中村 孝) 1単位 6614	介護科学特論Ⅲ (佐藤ゆ) 2単位 6614		
1・2 年後期		介護科学特論Ⅲ演習 (佐藤ゆ) 1単位 6614	老年医学特論 (藤井) 2単位 6614	高齢者保健福祉特論Ⅲ演習 (桐野) 1単位 6614	介護科学特論Ⅱ演習 (原野) 1単位 6614	

集中授業			
	(科目名) (教員)	教員	単位
1・2 年前期	国際コミュニケーション特論	高橋幸	2単位
	保健医療ソーシャルワーク特論演習	竹本	1単位
	プロジェクトマネジメント実践論	吉原	2単位
	災害医療援助特論	菅波	2単位
	災害医療援助特論演習	高橋徹	1単位
	政策科学特別研究	田中晃 菅波 近藤 井村	9単位
1・2 年後期	社会福祉支援科学特別研究	村社 中村光 佐藤和 坂野 吉永 竹本 桐野	9単位
	保健福祉支援科学特別研究	谷口 中村孝 樂木 佐藤ゆ 原野	9単位
	保健福祉学特論Ⅰ	中村光他	2単位
	保健福祉学特論Ⅱ	坂野他	2単位
	保健福祉学特論Ⅲ	荻野他	2単位
	政策科学特別研究	近藤 井村	9単位
1・2 年後期	社会福祉支援科学特別研究	村社 中村光 佐藤和 坂野 吉永 竹本 桐野	9単位
	保健福祉支援科学特別研究	谷口 中村孝 樂木 佐藤ゆ 原野	9単位
	高齢者保健福祉特論Ⅱ演習	中村 光	1単位

履修上の留意事項

- ◎ 教室は、保健福祉学部棟6614とする。(なお、変更される場合がある)
- ◎ 各特別研究は、1年次から2年次にかけて開講される2年間の科目である。



## 4 保健福祉科学専攻 (博士後期課程)

授業科目表

授業時間割表



## 4 保健福祉科学専攻（博士後期課程）

### 4. 1 本専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

保健福祉科学専攻は、人間の健康問題に関して、生命や栄養、看護・福祉など各方面からアプローチし、保健福祉科学に係る学問をさらに深化させることにより、保健福祉問題の解決策を提案できる高度な見識を備えた各専門職領域の実践者、指導者、研究者及び教育者の育成を目指しています。

したがって、本専攻では次の能力を身に付け、かつ修了の要件を満たした者に学位を授与します。

- 保健福祉科学の学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を自立して展開する能力を身に付けている
- 自らの得た成果を地域・世界に向けて発表するグローバルな情報収集及び発信能力並びに地域・国際社会で活躍できる能力を身に付けている
- 保健福祉科学の研究に対する理解に基づいた高度な倫理性を持ち、科学的基盤に基づいて研究若しくは教育を実践できる能力を身に付けている

### 4. 2 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- 1 保健福祉に関わる学問をさらに深化させ、看護・栄養・福祉のそれぞれの分野において高度の見識と、より専門的な視点から科学的にアプローチする研究を行うために、本専攻に看護学大講座、栄養学大講座、保健福祉学大講座の3大講座を置いています。また、外国人を担当教員とし、英語で講義する科目の設定並びに海外協定校との共同研究の実施により、グローバル教育を行います。
- 2 看護学大講座では、看護実践を通して生じる諸現象やケアそのものを科学的に解明していくため、慢性疾患患者やがん患者及びその家族が抱える諸問題や、高齢者等のケアニーズに対応する看護システムやケア開発、看護の質向上に資する教育・研究を行います。教育課程は基礎看護学、成人看護学、小児看護学、母性看護学、地域看護学、精神看護学の各分野の講義並びに博士論文指導を中心とした看護学特別研究からなります。
- 3 栄養学大講座では、食事に伴う栄養現象を分子生物学的アプローチにより解明し、病気の予防に活かすため、食品中の新規有効成分の解明、食品の安全性の追求、慢性疾患における代謝調節系の役割の解明を目指した研究を行います。教育課程は分子生物学、栄養科学、食品科学、病原微生物学の各分野の講義並びに博士論文指導を中心とした栄養学特別研究からなります。また、外国人による科目を設定しグローバルな視野を育成します。
- 4 保健福祉学大講座では、児童、障害者、高齢者を主な対象として、その自立支援に関する研究を行います。教育課程は、保健福祉政策、家族保健福祉学、高齢者保健福祉学、障害者保健福祉学、児童保健福祉学、地域保健福祉学、国際保健福祉学の各分野の講義並びに博士論文指導を中心とした保健福祉学特別研究からなります。

保健福祉学専攻保健福祉科学専攻授業科目表(平成29年度入学生用)

授業科目の名称		授業の方法	担当教員 (*印は非常勤講師)	配当年次	開講 時間数	単位数	
						必修	選択
看護学大講座	基礎看護科学特別講義Ⅰ	講義	山口 三重子	1・2・3	30		2
	基礎看護科学特別講義Ⅱ	講義	荻野 哲也	1・2・3	30		2
	成人看護科学特別講義Ⅰ	講義	名越 恵美	1・2・3	30		2
	成人看護科学特別講義Ⅱ	講義	高橋 徹	1・2・3	30		2
	老年看護科学特別講義	講義	實金 栄	1・2・3	30		2
	小児看護科学特別講義	講義	沖本 克子	1・2・3	30		2
	母性看護科学特別講義Ⅰ	講義	岡崎 愉加	1・2・3	30		2
	母性看護科学特別講義Ⅱ	講義	池田 理恵	1・2・3	30		2
	地域看護科学特別講義Ⅰ	講義	二宮 一枝	1・2・3	30		2
	地域看護科学特別講義Ⅱ	講義	未定	1・2・3	30		2
	精神看護科学特別講義	講義	未定	1・2・3	30		2
	国際コミュニケーション特別講義	講義	高橋 幸子	1・2・3	30		2
	看護学特別研究	演習	山口三重子、荻野哲也、高橋徹、 岡崎愉加、二宮一枝、池田理恵、 實金栄	1～3	240	8	
栄養学大講座	内科学特別講義	講義	入江 康至	1・2・3	30		2
	遺伝子工学特別講義	講義	田中 晃一	1・2・3	30		2
	分子細胞生物学特別講義	講義	山本 登志子	1・2・3	30		2
	食品機能科学特別講義	講義	伊東 秀之	1・2・3	30		2
	脂質分子病態科学特別講義	講義	高橋 吉孝	1・2・3	30		2
	食品酵素科学特別講義	講義	中島 伸佳	1・2・3	30		2
	食品栄養科学特別講義	講義	山下 広美	1・2・3	30		2
	食品資源科学特別講義	講義	岸本 妙子	1・2・3	30		2
	栄養予防治療科学特別講義	講義	川上 貴代	1・2・3	30		2
	公衆栄養学特別講義	講義	久保田 恵	1・2・3	30		2
	食品調理科学特別講義	講義	新田 陽子	1・2・3	30		2
	機能分子科学特別講義	講義	川上 祐生	1・2・3	30		2
	栄養生理科学特別講義	講義	森脇 晃義*	1・2・3	30		2
	東アジア栄養学特別講義	講義	李 奎姫*、方 定志*	1・2・3	30		2
栄養学特別研究	演習	入江康至、伊東秀之、高橋吉孝、 中島伸佳、新田陽子、山下広美、 川上貴代、山本登志子、川上祐生	1～3	240	8		
保健福祉学大講座	保健福祉政策特別講義	講義	井村圭壯、増田雅暢*	1・2・3	30		2
	家族保健福祉学特別講義	講義	近藤 理恵	1・2・3	30		2
	高齢者保健福祉学特別講義Ⅰ	講義	谷口 敏代、藤井 保人、原野かおり	1・2・3	30		2
	高齢者保健福祉学特別講義Ⅱ	講義	中村 光	1・2・3	30		2
	障害者保健福祉学特別講義Ⅰ	講義	中村 孝文、樂木 章子	1・2・3	30		2
	障害者保健福祉学特別講義Ⅱ	講義	坂野 純子	1・2・3	30		2
	児童保健福祉学特別講義	講義	佐藤 和順、吉永 早苗、新山 順子	1・2・3	30		2
	地域保健福祉学特別講義Ⅰ	講義	村社 卓	1・2・3	30		2
	地域保健福祉学特別講義Ⅱ	講義	竹本与志人	1・2・3	30		2
	国際保健福祉学特別講義	講義	近藤 理恵、未定	1・2・3	30		2
	保健福祉学特別研究	演習	村社 卓、谷口敏代、中村 光、近藤理恵、 中村孝文、佐藤和順、坂野純子、 井村圭壯、竹本与志人	1～3	240	8	
<p>【修了要件】 次の要件を全て充足すること。 1 3年以上在籍すること。ただし、特にすぐれた業績を上げた者については、1年以上在籍すれば足りるものとする。 2 各大講座の特別講義2単位以上、特別研究8単位、合計10単位以上を修得すること。 3 指導教員から研究指導を受けて作成した博士論文を在学中に提出し、その審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>【注意事項】 特別研究は、選択した大講座の特別研究を積算して3年間履修した後に単位認定される。ただし、特に優れた業績を上げた者については、1年以上の履修後、単位認定する場合がある。</p>							

保健福祉学研究科 保健福祉科学専攻(博士後期課程)

〈看護学大講座〉

	月6限	火6限	水6限	木6限	金6限	集中
前期	看護学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉	基礎看護科学特別講義Ⅱ 〈荻野〉	成人看護学特別講義Ⅰ 〈名越〉		基礎看護科学特別講義Ⅰ 〈山口〉	
		小児看護科学特別講義 〈沖本〉	国際コミュニケーション特別講義 〈高橋幸〉		母性看護科学特別講義Ⅰ 〈岡崎倫〉	
		地域看護科学特別講義Ⅰ 〈二宮〉	母性看護科学特別講義Ⅱ 〈池田理〉		老年看護科学特別講義 〈實金〉	
後期	看護学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉				成人看護学特別講義Ⅱ 〈高橋徹〉	

〈栄養学大講座〉

	月6限	火6限	水6限	木6限	金6限	集中
前期	栄養学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉			食品栄養科学特別講義 〈山下〉		東アジア栄養学特別講義(8月) 〈李・方〉
		食品資源科学特別講義 〈岸本〉				公衆栄養学特別講義 〈久保田〉
						栄養予防治療科学特別講義 〈川上貴〉
後期	栄養学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉	分子細胞生物学特別講義 〈山本登〉	食品酵素科学特別講義 〈中島〉	内科学特別講義 〈入江〉	遺伝子工学特別講義 〈田中〉	栄養生理科学特別講義(2月) 〈森脇〉
		食品調理科学特別講義 〈新田〉		機能分子科学特別講義 〈川上祐生〉		食品機能科学特別講義 〈伊東〉
						脂質分子病態科学特別講義 〈高橋吉〉

〈保健福祉学大講座〉

	月5限	月6限	火5限	火6限
前期		地域保健福祉学特別講義Ⅱ 〈竹本〉	児童保健福祉学特別講義 〈佐藤和・吉永・新山〉	高齢者保健福祉学特別講義Ⅰ 〈谷口・藤井・原野〉
後期		障害者保健福祉学特別講義Ⅱ 〈坂野〉	障害者保健福祉学特別講義Ⅰ 〈中村孝・樂木〉	
	水5限	水6限	木5限	木6限
前期	地域保健福祉学特別講義Ⅰ 〈村社〉	高齢者保健福祉学特別講義Ⅱ 〈中村光〉		保健福祉政策特別講義 〈井村・増田〉
後期				家族保健福祉学特別講義 〈近藤〉
	金5限	金6限	集中	
前期		保健福祉学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉		
後期		保健福祉学特別研究 1年次生 2年次生 3年次生 〈研究指導教員〉	国際保健福祉学特別講義 〈近藤〉	

履修上の留意事項

- ◎ 教室は、別途指示する。  
◎ 各特別研究は、1年次から3年次にかけて開講される3年間の通年科目である。

